

令和4年 第1回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和4年5月20日（金）午前9時30分から午前10時40分

2 場 所 雫石町役場 2階 201号会議室

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 佐 藤 嘉 彦

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

教育委員 菅 原 徹

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 柴 田 慈 幸

課長補佐 山 口 善 英

学校教育課 指導主事 黄川田 泰 幸

課長補佐 坂 井 峰 子

政策推進課長 川 崎 欣 広

係 長 沼 田 伸 吾

主 査 岡 本 麗 理

主 任 酒 井 文 徳

5 傍 聴 者 な し

6 挨拶

猿子町長： 4年度1回目の雫石町総合教育会議を開会するにあたり教育委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席賜りして厚く御礼申し上げます。また本町の教育行政に対しましても多大なるご尽力をいただき御礼申

申し上げます。

コロナ感染者が本町でも発生している中で、先生方、教育委員の皆様方のご尽力により本町、学校関係ではクラスターが起きていないという状況に、本当に感謝を申し上げます。生徒の健康というのがコロナによって侵されているという事に胸を痛めますが、この会議を始めとして小学校、中学校、高校も一緒になって町内児童生徒の健康に万全を期すという形を取って行かなければならないと思っております。

なお行政では、給食費を始めできる限り子供達への手厚い環境づくりを進めて行くつもりです。どうか総合教育会議を通じながら教育委員の皆様方には今後とも本町の児童生徒が健全に生活できるようご協力をお願いいたします。

佐藤教育長： 総合教育委員会議の開催にあたりまして町長、副町長はじめ教育委員の皆様にもご出席いただき誠にありがとうございます。また日頃より教育施策に対しご指導、ご協力をいただいておりますことに教育委員会として深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止もすでに3年目となりましたが、これまで教育活動において感染防止対策に全力で取り組み、児童生徒への協力を進めてきております。4月早々に感染拡大防止のため止む無く学年閉鎖措置を取った学校もありましたが、その後は閉鎖措置までの状況には至っておりません。

5月14日には中学校の体育祭が開催されました。多くの保護者や地域の方々の暖かい応援のもと、生徒が全力で取り組めたことは何より良いスタートであったと思います。21日は小学校4校の運動会、28日には雫石小学校の運動会が予定されており、教育活動も順調に進められているところです。

本日の総合教育会議では今年度の教育施策について具体の要点を説明させていただきます。何卒、ご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

7 議 題

(1) 令和4年度雫石町教育施策方針について

【(1)について教育長より説明】

岩持委員： 4月末に、こいのぼり掲揚でマスコミ各社が取材に来まして、新聞やテレビでの全国放送もあり、親御さんやご親戚などから雫石のこいのぼりの元気な様子を見られたというお話を聞き、嬉しく思います。どんどん元気な雫石を発信していただきたい。

文化財についてですが、先日、県立美術館で「東北へのまなざし」と

いう企画展を観に行ってきました。今和次郎さんが御明神の女性達のことを書いたものもありました。県立博物館で作品を求めて雫石町に問い合わせたが、整備がされておらず探せなかったという話を聞きました。時間が経つほど探すのは難しくなってしまうのかなと思いました。

実は雫石の装束について、柳宗悦さんが陸中雑記の中で美しい野良着を若い女性が着て働いている姿を称賛した文章がありました。調べてみますと、あねっこ衣装は雫石地域の野良着として平成18年に岩手県の有形民俗文化財に指定されているのです。

指定されても町民が知らないような状況ではいけないと感じますので、もう少し情報発信をお願いします。

吉田委員： 健やかな体を育む環境づくりについてですが、先日、中学校の部活動の集会で教育長にお越しいただきお話をいただきました。現在、部活に入らない子も出てきている中で、体を動かして体力向上の機会を持つことで、夜にきちんと睡眠をとり、朝に起きて活動するという生活リズムも整えられると思います。そういうものに関しては力を入れて行っていただきたいです。

また、先日家庭部の部活動時間に農林課の職員を派遣していただき、ご指導いただきました。運動部以外でもご協力をいただくことは良いことだと思いますので、今後も子供達が幅広く活動できるようお願いいたします。

菅原委員： 不登校についてですが、現在の不登校の子供達のなかには、学級編成や進級した環境の変化で頑張ってみようかと思っている子供達もおり、少し気持ちが揺れ動いている部分があるのではと思います。少しの目配り・気配りによって、5月の連休明けや、夏休み明けに影響がでてくるかもしれないと思います。揺れ動いている部分があるのであれば、やり方次第で去年より不登校の児童生徒が減るかもしれないと思いました。

学校給食についてですが、関係の皆様の努力があり1食約260円で地域の食材も使用しながら提供されている。この値段でこのような給食が出せるのか毎回驚いています。

それから通学路の安全についてですが、予算や法律的な部分も絡むため簡単には対処できないものもあると思います。しかし、最善のものでなくても注意を促す看板を立てるとか、保護者に危険個所の周知を徹底するとか、少しの工夫で対応できる部分があれば、事故防止に繋がるのかなと思います。

町長： 様々なご意見ありがとうございます。危険な個所の修理などは、通学路が優先です。ただ、歩道が整備できない所もあります。例えば、板橋から七ツ森小学校に行く道路に歩道をとりましたが、とても大きく立

派な桜の記念樹があったため、今年伐採せずにグリーンゾーンを引いて様子を見ることとしました。中町にはすでにグリーンゾーンを引いております。危険個所の情報を伝えてもらうのが最初ですので、その他にもそのような場所があれば教育委員会へ伝えて下さい。

また、冬場の通学路は非常に重要で、丁寧に除雪しています。その他、西山診療所付近の県道も歩道が開通予定となっております。

千葉委員： 子育て寺子屋について、今年度は4地区取り組むという事で、午前中は教科の学習、午後は体験学習という事でしたが、コミュニティ・スクールも昨年から本格実施となりましたので、この体験学習について地域の方を活用し連携することで、また良い事業になるのではないかと感じました。

教職員の働き方改革について、文部科学省では学校部活動を地域の指導者に移行する方向性のようです。当町においても既に何人か指導をお願いしている方がおりますが、町民の中には他にも一生懸命取り組んでいる方がいると思いますので、25年度にスムーズに移行できるよう教育委員会だけの情報ではなく、町長部局など職員皆様から情報を集め人材確保をお願いできればと思います。

給食に関してですが、数年前、給食に小岩井乳業からプラズマ乳酸菌ヨーグルトを提供いただき、それがインフルエンザ予防に効果があったと研究された医大の先生から聞いたことがあります。安全・安心は前提ですが、アンテナを広くして先駆的な話などもあれば良いと感じました。

副町長： 念願のアーチェリー射場が建設されることになりました。国体のレガシーをここまで運営できたということは高体連のアーチェリー部のご尽力があったからという事を忘れてはならないと思います。限られた予算ですがアーチェリー射場が競技者のための最高の施設となるためにも、成功にあたっては、これまでどおり高体連との情報のやり取りを大切にさせていただきたいと思いますし、その点に留意されて施工業者とうまく調整を図っていただきたいと思います。

町長： このアーチェリー射場は、町全体をアーチェリーにしたいという思いから作るのです。アーチェリー人口はそれほど多くないので、オリンピックへの道のりが一番近いです。雫石からオリンピック選手をぜひ輩出したいという思いもあります。また、アーチェリーは1度体験すると楽しいという話も聞いておりますので、子供に興味を持ってもらえるようご協力をお願いします。

(2) 雫石町教育振興基本計画の成果指標について

【(2) について教育次長、生涯学習スポーツ課長より説明】

副町長： 自己肯定感を持つ児童生徒の割合が少なくなっているという事ですが、以前は全国トップレベルだったという実態があり、少なくなっていることから何が分かるのでしょうか。例えば児童生徒の自分の居場所がなくなっている、活躍する場所が減少している、褒めてくれる家族、友人、先生などが少なくなったなど、実績から何が分かってくるのでしょうか。

指導主事： 大きな話になってしまいますが、世界レベルで見ると日本の自己肯定感は格段に低く、文部科学省でもこれをどうにかしなければと分析をしているところです。岩手県も例外ではなく、県教育委員会でも自己肯定感を何とか高めようと一生懸命です。具体的には何かということですが、やはり副町長おっしゃったように活躍の場がある、そして、それを認められること、また、家庭においてコロナ禍が非常に大きく影を落としているのではないかとされています。

岩持委員： 歴史文化の保存と継承についてですが、町民公開歴史講座の参加者数が指標にあります。毎年、雫石史談会と教育委員会と共催で講座を行っていましたが今年も3月14日に予定しておりましたが、事務局長が2月に亡くなられ、またコロナ禍ということもあり急遽、延期となりました。ぜひ教育委員会に史談会を救っていただきたいです。

千葉委員： スポーツ合宿ですが宿泊を伴うものについて、まさに雫石町は合致する地域だと思います。先日、わらび座に行く機会があったのですが、仙台の中学生が貸し切りバス3台で宿泊を伴う研修をされているようでした。少しずつ活動が再開されているのかなと感じました。当町でも、コロナ対応にも配慮しつつ宿泊業者と一体になってスポーツ関係の誘致を少しずつやられても良いのかなと感じています。

町長： おそらく、わらび座に行った学校は雫石町と仙北市、大仙市に行かれたと思います。以前は農家が体験させて宿泊させていましたが、農家ではちょうど田植えの時期で宿泊が難しく、現在は体験は農家で、宿泊は宿泊施設となっています。本町でも体験学習受入れ等再開しています。中学生が2、3日連続で来て、ホテルや民宿に宿泊しています。道の駅にも徐々にバスが来ています。

8 その他

政策推進課長： 雫石高校の魅力づくりの一環として総合的な探求の時間を活用して虹色コンパスと称してキャリア教育支援を行っておりますので、事務局より令和3年度の取り組み内容についてご報告させていただきます。

【虹色コンパスについて、政策係長より説明】

政策推進課長： その他、皆さまからなければ、以上を持ちまして第1回雫石町総合教育会議を閉会させていただきます。ご協議いただき大変ありがとうございました。

9 閉 会